

瓜生政和編集

萬國百物語

石塚寧齋畫圖

東京

書肆

保永堂

藏板

二編

三の巻 目錄

英吉利のはまー

一丁

蘇格蘭のはまー

三丁

威勒士のはまー

六丁

愛爾蘭のはまー

十丁

英倫のはまー

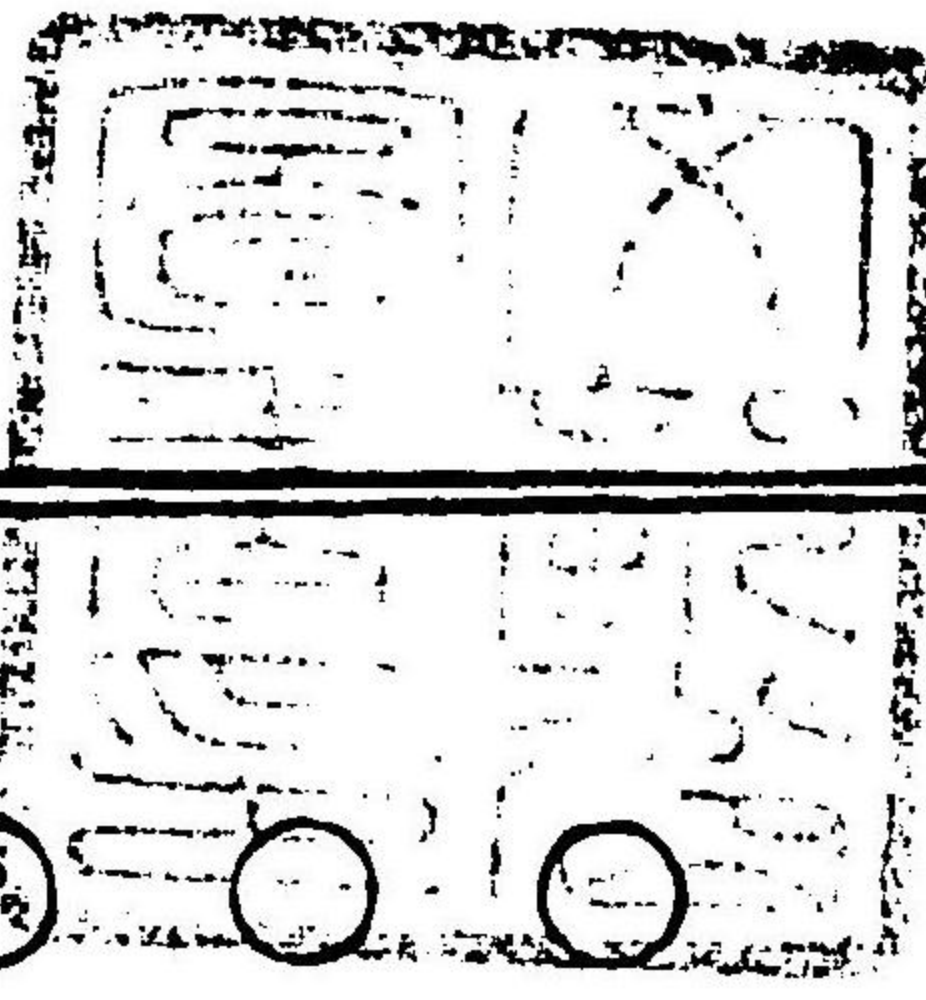
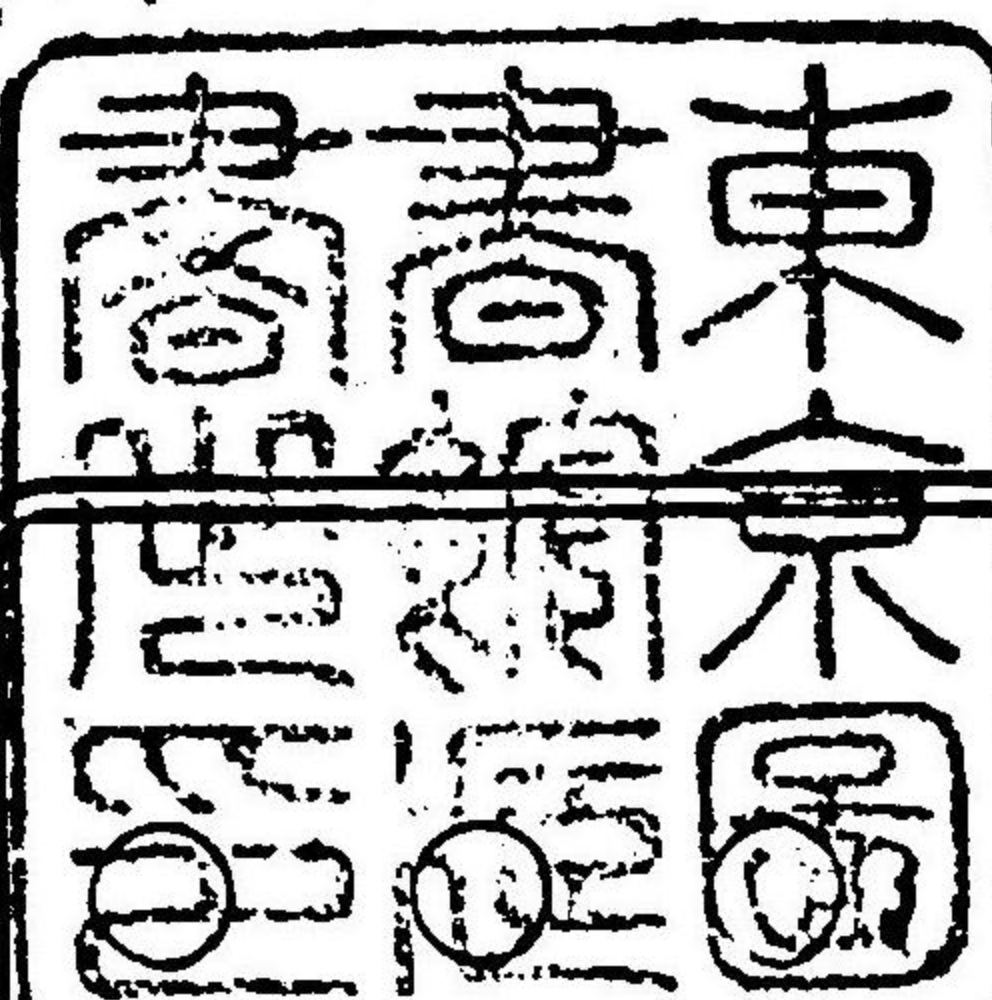
十一丁

連國のはまー

十七丁

瑞典國のはまー

廿一丁



萬國百物語

瓜生政和編集

萬國百物語

石塚寧齋畫圖

東京 書肆

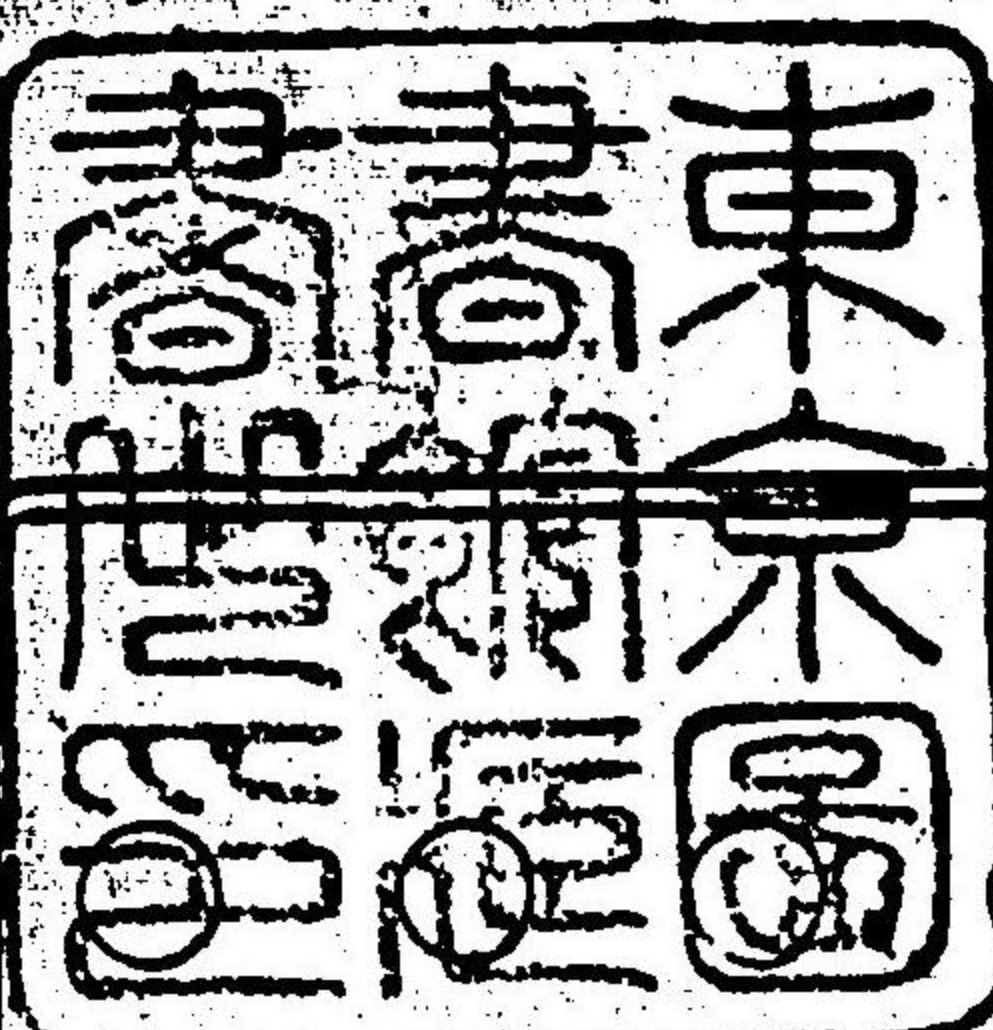
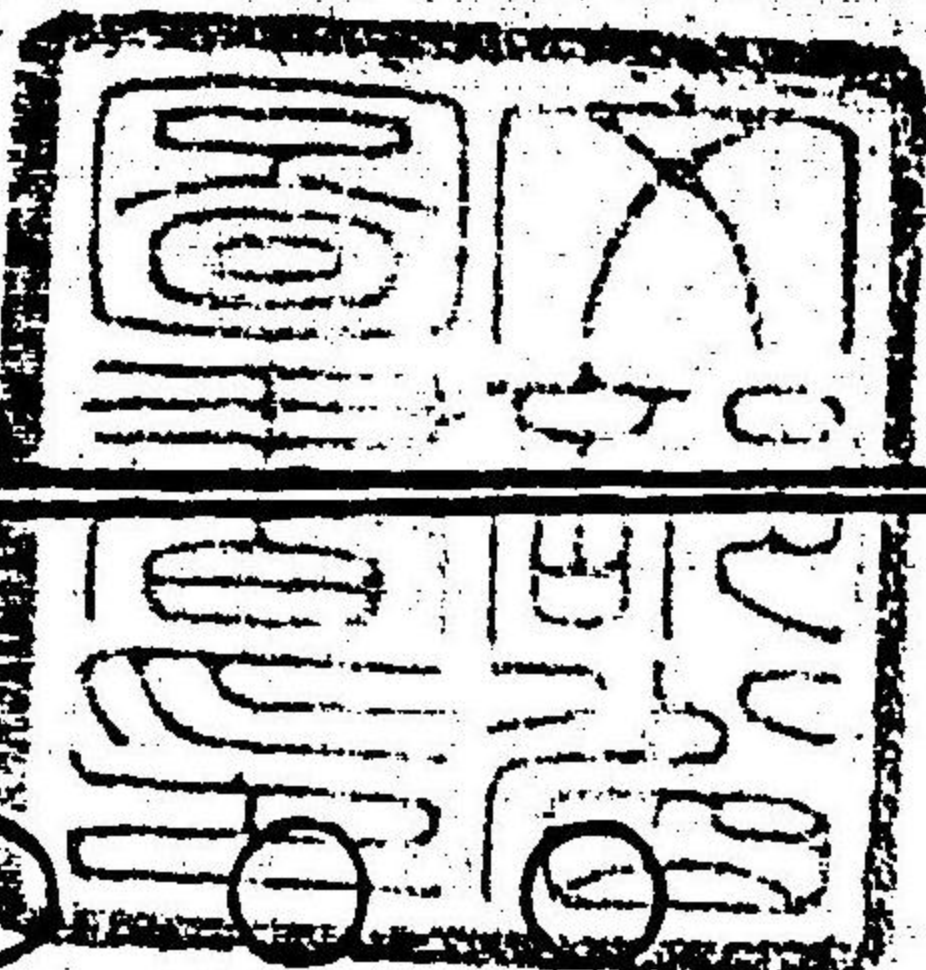
保永堂

藏板

二編

三の巻 目錄

英吉利のはま	一丁
蘇格蘭のはま	三丁
威勒士のはま	六丁
愛爾蘭のはま	十丁
英倫のはま	十一丁
連國のはま	十七丁
瑞典國のはま	廿一丁



○那威國のはまー 九二丁

○拉巴蘭のはまー 九五丁

四の巻 目錄

○佛蘭西のはまー 一丁

○和蘭のはまー 十四丁

○白耳義國のはまー 九二丁

通計

十二條

萬國百物語

卷之三

東京

瓜生政和編集

○英吉利のえまー

○英吉利といは英倫、蘇格蘭、愛爾蘭、威勤士、の四ツ

の国と合せたるの名なりけ、国ハ歐羅巴の西大西洋中

ふあるニツの島ふりて英倫ハ南ふ在り、蘇格蘭ハ

北ふ在り、威勤士ハ西ふ在り、愛爾蘭ハ別ふ一ツの

島と為せり度数の蝦夷柯太の地と類すと云ふ
 割ふ合せての寒さ薄し土地北ふ高山多く南の稍
 平坦あり河の達迷塞河ハドウェー河ると云ふ
 とぬす且諸物運送のぬ掘割する溝渠の所
 都會ふ聯り巡りて其数甚ご多し赫督撫と云
 ふ者が校計ふて掘る溝ハブリドゲワトルと名けり
 河ふをトレント河ハサヘル子河と合せて引る水あり
 ハオールドレイと呼ふ処より始まり山を越え谷を越え

水路と附るふ因り地の底とニ々時半ある間
 流る処あり又ハイリウエル河ふ至りての高さ三丈ハ
 尺の上へ規と跨がせハイリウエル河と往來する大船の
 通路とさまづげず然して規の中ふも小舸帆を揚
 ぐ快く駛走ゆかど其壯觀想ふべし斯の如きの溝
 渠ある所々ふ多し農の小麥を専らとるし又裸
 麥とも多く作るとも尚食とぬるふ足らず又薪
 木切出す樹木乏しと云ふ以て朝夕のものを皆石炭と用



○當国の産物中石炭を以て第一とあり、鑛の鑛は
 次ぐ石炭の年々掘出すところの高六千六百七十
 万噸餘ありて二千年餘を経るとも尚尽す
 至らず斯の如くあるとて石炭を掘出す人足全
 国中ふての日々十五万人餘ふ及ぶと云ふ

○蘇格蘭ふての常の食ふ小麦馬鈴薯とて用ひ
 愛爾蘭ふての馬鈴薯のこを以て食とすは国
 牛馬もろとも多く、英倫愛爾蘭と合せて一千万

頭餘を以て算へ別ふ良馬二百八十万疋羊四千二百
 疋ふ及ぶ

○は国往古の羊を産せず依りて今より百三千年
 ほどおのころ伊斯巴泥亞より羊數数百疋を移
 是を殺すことを嚴に禁製とあり又他国へ賣
 渡すとも法度ふて若し犯す者有とて左の如
 断り十二ヶ月の間牢へ入るとおくと則とわす斯の
 如きを以て羊年々殖すと夥し西班牙の羊の歐

高田百物語の巻

○羅巴中の上等ある故其種と移しつゝ一ふ當時

ふての西班牙のものより更ふ一等を加ふと云ふ

○蘇格蘭の北の方の牛の形体矮少くして多くは角

あり愛爾蘭の牧の場所廣々と以て牛沢山あり

故牛酪と出すと夥しその地の人の耕作とするを

首務とみさず牧畜を以て活計と為るもの十ふ

して七八ありしが五十年ほどおふ政府より世話

ありて農事とも勢むるを為りしなり

○エトランドと云ふ島の中ふ不思儻ある洞穴あり深さ

数歩ふ過ず穴の中常ふ湿りて水點滴あつ人け中へ

物と投こめば一切なる化して石質の形ちを為し漸く

やうに堅き石と為る

蒸気車の鑛道は國中と廻り亘りて其長さ五千

八百里餘ふ至る

は國都會の場所きめ多く人員一万以上の早

百五十ふほど有りあり



○立邦布立の城下の首都
 倫敦小次ぐの町ありて
 人員五十二万餘国の西の
 方美塞河の出口ありあり
 愛爾蘭亞米理加と
 貿易の船の皆この
 港より出入り
 ○曼識特の城下ハイルウ

ル河小傍ひて町とあり人員四十九万餘小至り綿布
 と織出すは機械場と世取第一とあり
 府内の織殿のこゝる八階九階の高さありて二百三十三軒
 あり綿を繰り糸を紡ぐは尽く蒸気の仕掛るれど
 其職人猶常小四万三三千ふ及ぶと云ふ
 ○比名罕の城下の鑛細工の名所ありて蒸て玻璃の器と
 も能す人員三千七万餘ありは所の土瓶の口より湯
 気の噴出すを計りて一合の水沸騰は二石七斗の

容量と為り千七百倍の力とめると發明し蒸気の
機関と造り出せし瓦徳といふ人の出たる地故今も蒸
氣ふて物と製作めるの會社多し

○沙非的の城下の鉄甲の船鉄道用の中諸具或は火
砲まゝの砲丸と製するところ用の中蒸気の仕掛夥
くさといひて黒烟常ふ府内を掩ひ晴天といふこと
能はず焚立るところの石炭の匂ひ四方数十町に
間ふところ也

○威勒士の英傑の西の海岸寄りて愛爾蘭と海と
隔て向ひ合する国ありスワセロ府の城下の毛氈の名
所みまゝ其製衣もろとも精良と極む安各勅塞島の
る地の西の海岸と少し離れし所ありて以て鉄
て造りし管橋と渡り蒸気車を通ずる鉄道と
す其長さ三百七間あり橋の下と大船の往来するが
る水面より三十二間ある上は架し煉化石
て築立たる橋杭僅らふ三所あり在り橋は鉄の煉板

と以て内幅二間一尺高さ四間二尺の箱樋の如く造り
しあり橋の名を貌利太鉄管橋と云ふ實小橋梁
中の巨大あるものあり

○蘇格蘭の山脈蟠屈り峻峻の地多しとくども能く
閑墾して耕作せらるる且文学勝るとて行くと四
所ふ大大学あり生徒もるとも盛んあり

○以丁堡の国は首都あり人員十七万九千あり
医学道学の如くは地の学校を以て英吉利中

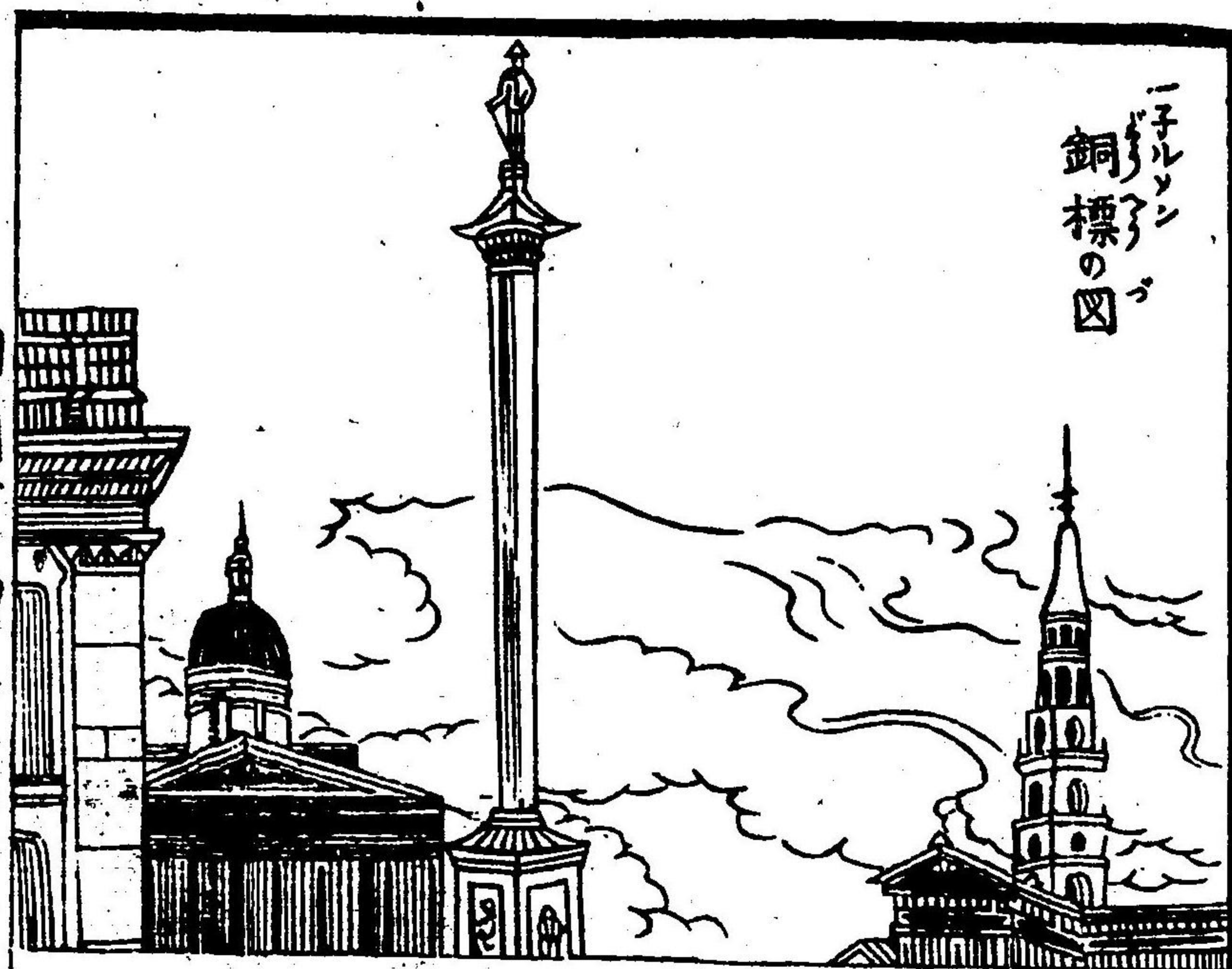
の才一等とす書物庫至つて大に蔵する所の本十
万巻餘ふ至る

○哥羅斯哥の城下の西の海岸に在り當国才一の
大都會あり人員五十七万ふ及び繁昌あると全
国の才三がんめ四大府の其一あり

○英吉利の三都に英倫首都倫敦蘇格蘭の首
都以丁堡愛爾蘭の首都都柏林あり又四大
府にホール府マレチエストル府ブリプル
ル府

フランスゴウ府あり

け地洋布と織出すと夥しく常小用ゆるところ
 の織機二萬五千紡機百八十万とと蒸気の仕掛
 て運動日々小織出すところ洋布の長さゆる速
 伸しく百四十四里二十四丁あり是と二年の金高小速
 一千万両とす又け洋布小織ところの棉花の
 毎年十二万俵前後より皆亞米理加より持渡さゆ
 のとぞ然ととも前小記しる曼識特の城下の洋布



銅標の図

と織出すと倍と倍と倍の
 高を加ふところ

○け地の「ユリ」ヒルツと云ふ
 内海よりロツキ。リンニーと
 云ふ内海まで溝河を掘り
 通し船路を附しつことと
 カラドニヤン。カナールと号す
 其長さ二十里幅二十間深

二間三尺間門の數二十五ヶ所ありけ堀割今より
 六十七年おふ始まり十七年めふて成就す惣雜
 費三百萬兩ふ至る其後まゝ二十五年と経て修復ふ
 及び再び六十萬兩と費しると以て河蒸氣船の往
 來自在を得る國內の便利舉て莫ふべからざるふ
 至る

○當国の内スタハアと云ふ小島ふ楕圓ありとせり岩
 石の洞穴あり周田九二十六丁岩の高さ二十四間餘洞

の一方の數限りも知れぬ低き石の柱立廻り一方の高さ
 五間お後の石の柱突立兩方の石の柱宛蟬りて「ヒン
 ゴールス、ケープと云ふ山岩の洞ふ抵るその洞穴の形
 ありて高さ九十一間四尺ありけ処もまゝに類の石の
 柱聚り從尊え立て洞とみす遠く是と望め奇觀
 極りる一尺造化の妙作との云て未だ其理を究
 むるものあり実ふ世叟珍境あり

○愛爾蒙の内「ベンゴール」ヘットと云ふ海岬ふもま

コシヤイ、エント、コウスウエーと
 云る天然の石の柱あり数
 四方をどのもの聚り立て
 岬の頭とあり其上の平
 坦ありて波戸場の如し
 岬の端の長さ百十六間
 四尺潤さ五十八間二尺高
 さ岩石の底より六十六間

洞中の図



四尺と云ふ是まこの奇観あり

○愛爾索の山脈横ふ亘り其間ふ廣大なる野原あり
 氣候温和ありて畜類を牧ふ宜し牧の草常ふ青
 青しとて以て土人呼ぶ青草島と云ふ

○都伯林は国の首都ありて人員三十三万餘あり
 町の家並直經ありて長さ二里半幅二十間の道
 あり女王義利沙の建たる法教の大学校の廣大
 ありて常ふ生徒二千人有り書物庫あり本十

五万卷を貯へ手寫の珍書多しといふ

○コレンヤの城下の西南の海へ出張する所不在り

処より傳信の線と海の底へ沈めて北亞米理加の

島新著の「チリツチ」と云ふ地へ達す其距離

九百七十五里海の底の深さともうの三十五丁不及

は大仕掛と種々不工夫しく今より二千年をとお

ふ漸成就ありあが我程多く損ぐて用を成する

り〜と巨万の財とを量の智力とを尽し

五年ぶる小至り又二條の線と通し始めて成就する

至りし音信一時と待ずして達するといふ

○倫敦の英吉利惣国の首都ありと達迷塞河と

一と二と建連ねたる家々三階より五六階小至り

町の長さ四里幅三里の内外ありて是と一連お伸

せび三十里餘小至る人員の三百二十万餘大小の寺

院六百八十六学校二百六十私学校千五百病院

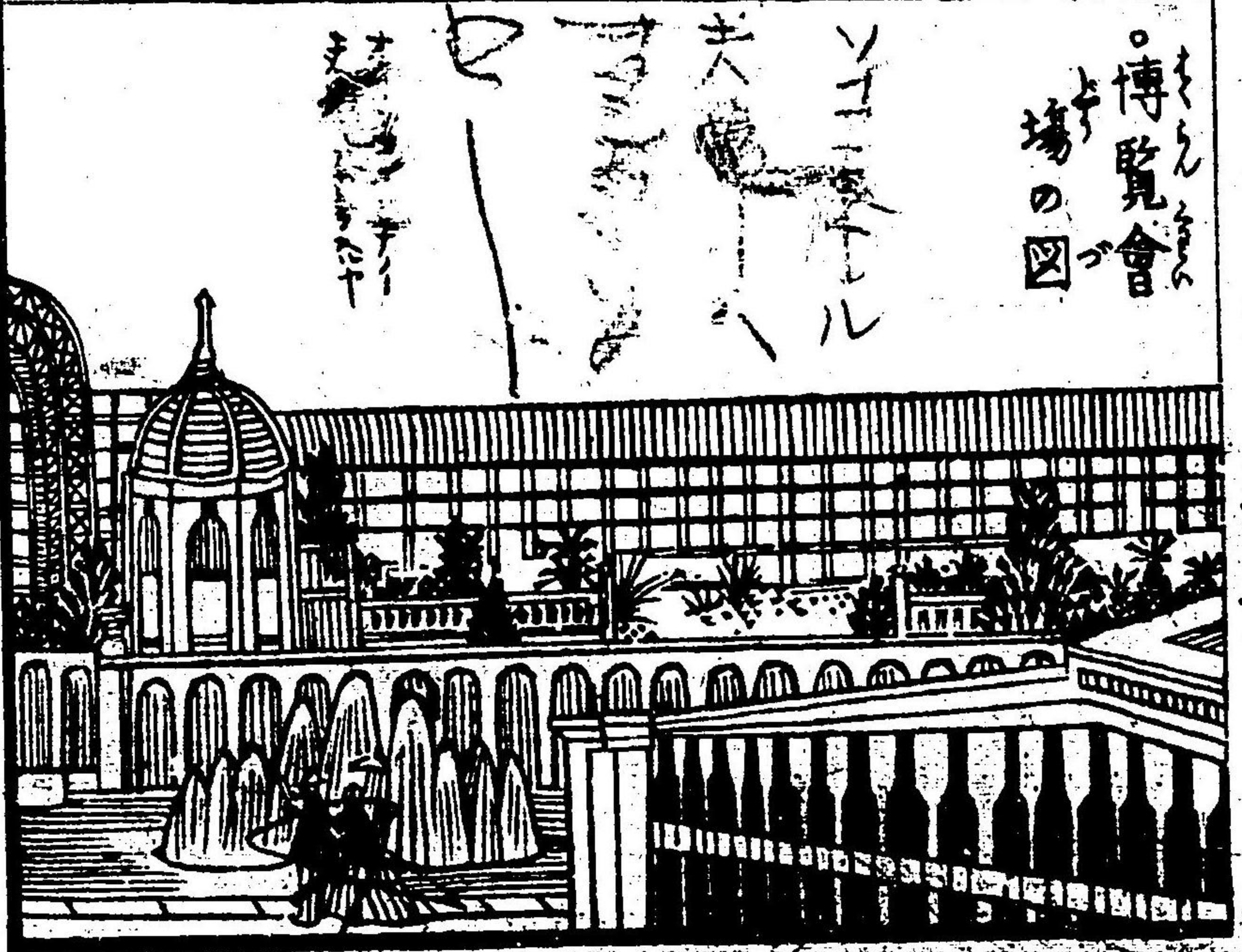
五十武塔庫百五十五劇場二十二所貿易及び

諸物製造の局と合して七千七百餘あり、其
世夷第一の繁昌と占むるに往來の人或ひ馬車
の繁盛と以て道と横切りて以て方より彼方へ至ると
能いざるもどあり、府内と東西南の三大區を別ち
東の商人多く西の高樓殿閣多く南の製衣作場と
多し
セントホールのス寺の圓き塔の高さ六十一間四尺あり
セントメントの高さ二千四間の銅標あり、今より二百五

十年おふ大火ありて家数二万三千四百寺院八十九
焼亡し、死傷せし人夥し、ついで其火を發せ
しところふ是を建後來のぬふ往昔語りと記せ
所の碑あり
アツキンハム及びパンプトンの両宮の国王の居所や
く美麗壯大言辞ふ尽し、
府内と流る達達塞河へ十三ヶ所小橋を架す
長さ百二十間より二百間ふ達す、鑊或ひ石ふく

造り何とも奇功と極む
 又河の下の地と穿ちて道
 と通し橋を代て往来と
 ぬす穴の道暗さと以て
 瓦斯燈と點し商人見せ
 と出し道の関まると
 居るありけ道今より
 三十年ほどおふ成就

博覧會場の図



ぬせりより其造築の巧なる外国人として敬慕する
 ちるふ足るものあり

刑イデンハムの博物館の長さ二百七十間高さ三十三
 間二尺ありて鉄の柱鉄の棟を用ひ上と掩ふ小
 璃と以てせしうは遠く是と望む水晶と以て造り
 しが如し故に水晶宮と言ふけ内ふの世叟中の
 物と摸し或ひ其品々と採り集めて一切あら
 と云ふ物るけとび一目の下ふ全世界と云ふ如し

の所あり

前ふも記し如く倫敦中ふ公私の学校二千ダ
 所近きなど在于とりども今より六十年おふテ
 ロウガムと云ふ人の政府へ上る建白書ふ倫敦中
 未だ教訓と受ざる小兒九万人ありまゝ曼識特の
 城下ふの六年以来我姓名と書すると能はずして妻
 と娶り一者九千七百六十五人あり是らへ皆稚さ
 より諸職ふ給仕一学校の教誨と後ふするの故と

以てありと載せりまゝ其頃倫敦中の並普通のひと
 兇匪とと比例しふ常の人八百五十四人ふ兇匪一人と
 一愛爾蘭ふの常の人一千八百九人と兇匪一人と
 一蘇格蘭ふの常の人二十万十三人と兇匪一人と
 為すとぞ蘇格蘭人の斯善人多らる其国の人性
 質厳正して共学の設けある故と言へり抑は国の学
 校の制未だ具ふ備をらずと雖ども著作の書
 旋るく言辞ふ禁止るけらる新聞紙大いふ行

上下相隠あひかくず事ことと公あまふるすを以もつて人心じんしん自然じぜん正道せうだう
お進すすむとあり

○英国えいこくも大古おほいにの野蠻やまんとの人のことふて饜味あじまひとて今いまより千九百餘年せんくひやくじゆねんお羅馬らまの元帥げんすい該撒がいさとらふ者もの英倫いんりんお渡り来りわたりにきて始めはじめとる後のち羅馬らまの華老くわらう去斯帝そしていお至り軍ついでと出して国人こくにんと伐従うらふへ都府とふと建街道けんかいだうと分ち大いお荒地あれちと開拓くわいたくるせり然しかとともす蕪格榮威うかくえいゐ勅士てくしとてみ首長くわうちやうありて是これお伏ふせず夫それより五六百

年としと経へて又また日耳曼にちじまんの中ちゆう安各羅あんかくら人じん薩克索さくそ人じんらはい処ところお来り土人どじんと蕪格榮威うかくえいゐ勅士てくしらはい地ちへ追出おひだし安各羅あんかくら薩克索さくそ族ぞくと名なけり七軒しちけんの大名だいめいとあり各おの權威けんゐと振ふるひつりが又また三四百年さんしゆひゃくねんと経へて厄塞やくさつ斯侯しきこうと云いふ者もの七軒しちけんの大名だいめいの中ちゆうより起おこりては切従きつじゆうへて初はつめて英倫いんりんの一国いつこくと平ひららげつりは折おらはしは噠国たいこくの軍勢ぐんせい海うみと渡わたり来り是これがはお土地とち七八分しちぱんぶんと掠らめは集あはらる然しかるはお今いまより八百年はちひゃくねんおとゞまの

ところ仏蘭西国の西の海岸に別と居る維廉侯
 大いふ兵を擧て侵入し連人と追ひ拂ひ全国に
 平定することを得て王家始めて定り代々盛衰
 衰革有りとりどる次亦亦富強を極むる土地
 の要害よきと以て他の歐羅巴各国の如く相互に
 討伐の難少なき故なり
 け国軍艦を出して追々小領分を殖しけしむる五大
 島の中英吉利の属地なる一は属国とツ小

集るとしての歐羅巴全島より一倍半の廣さありて本
 国より大いあると五十六倍と為す魯西亞の世界
 の大国と称すと雖も英国より狭きこと四百九十
 三里四方あり故に英吉利を以て坤輿中の最大国
 とすると云ふ
 ○英倫人の容貌端麗尊敬して意思高く物も
 敏く人と交りて質實なるといふ情を匿して妄
 表へ露さず勉強小事と執るといふ華侈小長ト名

○英國女王
エリザベス女王
 画像



と好んで傲慢なり、種格
 人の傾長なりて質朴と旨
 と一身体強健心又勇敢
 るまごとも其性簡易あると
 喜ぶ愛爾蘭人の性質善
 良よく容と愛一慈と皆
 めども政治の峻嚴と厭ひ
 勉強することと喜ばず威勅

士人の畧英倫人と同ドと一書ふんえんり

○連國のたゐり

連國ハ波羅的海と北海と突出し三方海ふりて
 只南の一方のて日耳曼ふ連り普魯士と境と接し
 氣候ハ寒くと強くとて雪調常ふ多し然まごとも
 人の身体ハ害ある程ふいならず国の中平坦なる
 とそり多きを以て湖沼の類ひ甚と多く波羅的海
 の方ハ土地殊とらふ低さふ因り廣大ある堤と築

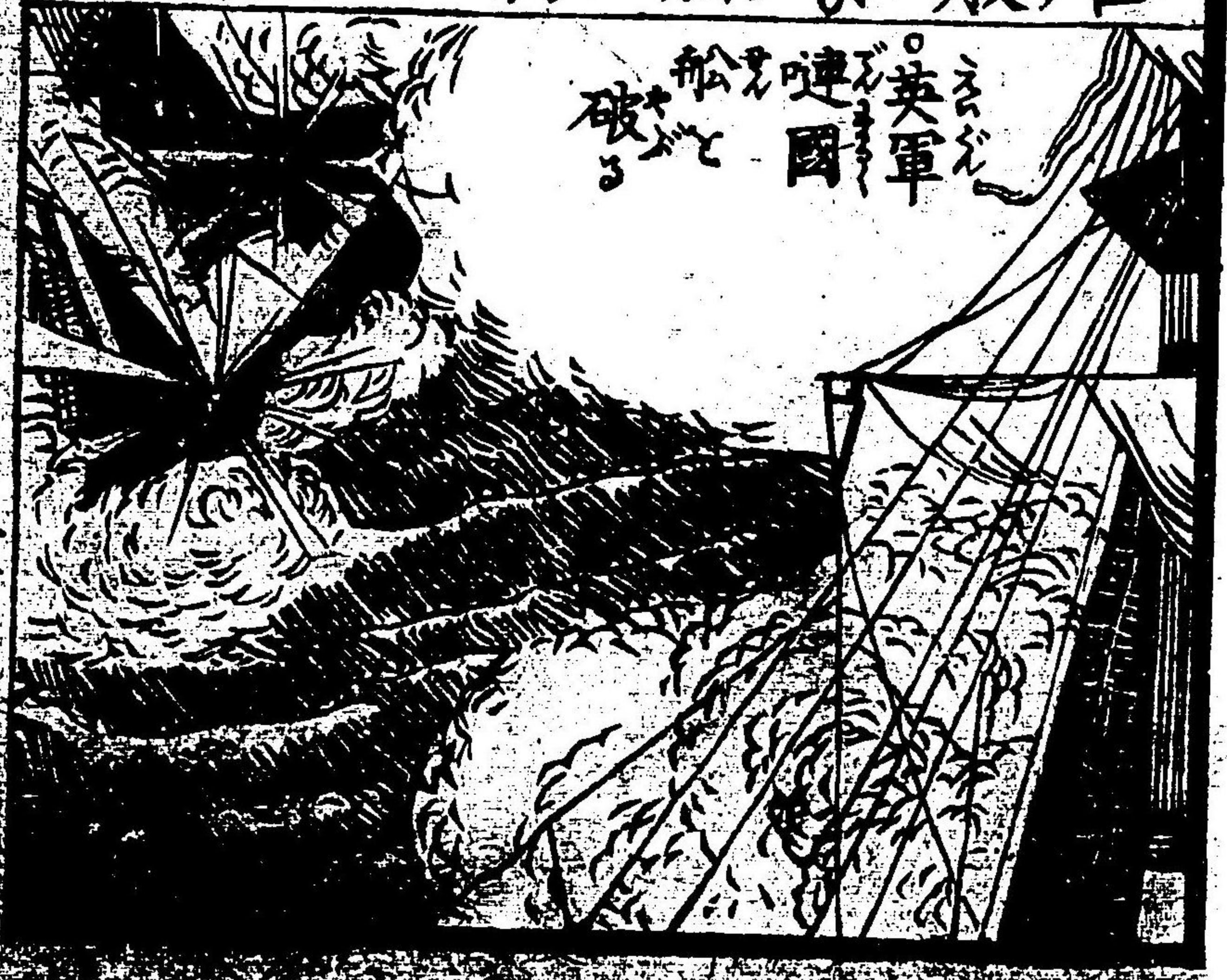
海の潮の漲り来ると防ぐとらども今より四十八
 年ほどおふ突波来り堤と壊して平地お打入り
 家と漂へ一庫と倒し人畜是がぬふ命と失ふと少
 むららずリムロヨルドの地も元は比国の北の海岸を
 りが突波のぬお別とて島とあるふ至らう土地
 肥沃ふくし燕麦菽豆の類ひと多く産し牛馬の
 牧も盛んお行くと交易の品の第一とぬす
 け国小きとらども歐羅巴易中の旧き王国ゆて

三面皆海お瀕むと以て船を出すの利最も便る部
 中港脚數十が所あり一港毎お多くの軍艦と收す
 りで非常と戒しむ其令極めく嚴重なり
 哥卑合給の地と以て首都とぬすは町は今より
 三百五十二年おふ和索の人移り住て建設け
 くる所あるも各當節お至りても近き四辺お在り
 ふと和蘭言辞と多ふあり府の町新都旧都
 の二ツお分と海岸お堅固ある炮臺と廻ら

各国の商船湊ふ出入りて碇泊貿易す王宮美
麗と尽し書庫大学校もて耶蘇宗の本堂
大ふく築造極めて美し府内の戸数三千二百
餘人員殆ど十万余近し

け府へ六十六年をどめ英吉利海軍の大
將納爾森といふ者数万騎を將ひ攻寄来り
く国人是を迎へて大い血戦ありしほどの最寡
敵難く終ふ敗北をすふ及び討死する者二

千人市中の家居四
百と焼軍艦十六艘
里尼船二十艘をど或ひ
焼と或ひの集り然
しほどの大を以て小と討
つるの所置宜しうらず
とて各国ともお是を
誇り却く英国の汗



英軍連國破

名とありーとぞ

荷典斯の城下の敷南島に在りて人員一万七千

ヲールボルクの城下の人員一万二千

ヲールホースの城下の人員一万三千あり府下の人

ハ何とも船頭漁師と業とす

當国往昔の威勢強大ありーが漸々衰へ佛

榮帝拿破崙騷乱より所領よりー那威国

の如きも失ひ其封境大り小威定まり今於屬国

と稱するもの僅う小依蘭土一島のこあり

依蘭土の譯して氷地と言ふとあり那威より北

の方の海中二百八十里の所小在り

首府とリキヤウイツクと言ふ人員一千二百

町の中所々小温泉あり當島小の噴火山牛丸

う所小燃上り歇加臘と名くる峯の海面より

直立五百十二丈麓の彼地は方小火と噴出

坑ありて土人其坑の上へ木の枝を架し鉄鍋

と垂て魚とまゝのまゝのハセルと言ふ温泉の
 山上お在りて熱湯を迸出らせ高さ九丈と過ぐ
 能痼疾を医す
 け国の人斯る邊土お在りみづから學問をみる下
 と好く風俗都て醇朴ホて書と讀と字と
 書するを知らざる者る一故お當地お至り
 一者其風俗と文學とお感賞一て已れと
 起すお足まゝとす

土人多く魚漢を以て活本とする故魚の骨を
 集めて作り一家あり甚ぶ希あり
 往昔卧兒狼德より悪疫流行一来て又那威
 お漫行り當地の人命を失ふと算うべからず
 是を焦死と云ふは悪疫以来人員大り減少
 一當時五百七十万お過ず然れども国内の
 廣らと噀国お過らり
 氣候極寒ホて一年の中お水の流れ動へ

僅うふ二月のこ寒さ甚ぐ一と時お至りと水
と汲つて空中お撒揚と地まぐ落る間お皆
氷りと成て小さある片をぬすと云ふ

○瑞典國のわらわ

瑞典の全國と二十四品お分ツ人員二万お過る城
下はづらふ四箇所二万お過る城下二ヶ所あり首都
と斯德哥摩と言ふ人員十三万餘市街波羅
的海お瀕とセツの島お橋を架して家居を造

築す王宮もまご島の上お在りて美麗廣大と極
む諸学校又盛んまり府外お在る美拉湖より溝
渠と堀り通して遠く内地と往來の便お備ふ
内商人の住居の木おて造るもの多く道幅狭き
と以てつらるところ美ならず然ととも港へ出入の

商船は日夜絶るとる

烏布薩粒の城下はづら国の往昔の首都る
ども今の市町大いお衰微人員はづら六千お過

ず然ととも古来名高き大学校ありて猶盛んふ行
 生徒常ふ一千三百人お下らず又廣大なる書
 物庫ありて理学の珍書と藏するに夥し
 閣敦堡の城下への国第二の都會ありて人員一万
 九千市町の家々の貿易と音とぬる故産物鉄銅材
 木とて積出すに夥し

○那威國のたまり

那威の全國と十七箇分ツ人員一万お過る城下



日づるふ六ヶ所首都と哉
 斯底安と言ふ北海より
 入り江お成りたる内地お在
 りて今より二百四十二年を
 どおのころ噠國の四世
 戎斯底安王の采きたる
 市街あり故に其名と取
 て府お負す人員六万

二千家居廣大なるもの之と雖も往來の幅廣く
 造作清麗と昔とむるゆゑ景色極めて美多り府
 の周田小炮臺と廻らす築造もつとも堅固と云
 ぬ
 自然の城下の人員二万六千ありては国第二の都會
 とあり材木銅とて以て産とわたり貿易する盛なり
 同ロントへの城下の往昔の国王の居所ありて一国の首
 都なり一故市町衰微するも雖も今於人員一方

あり何とも堅固の炮臺と設く

ハシゲルフエストの町へ人員千五百歐羅巴島中の北の外
 島の城下なる故五月六月の二ヶ月の日輪昼夜没するも
 多く只其照す影の轉るとなるものもとて常も異り
 温暖とて以ては時小乗の魯西亞の高船群とて
 入り来り鰻魚魚脂獸の皮とての産物と輸出す
 春秋の日甚と短く冬小至とて八九十日の間日輪の影
 隠とて暗夜と成るなり故に地小住す者も夏の

馴鹿の図



中一年の稼とわすれ只
 寒さの防ぎと以て身の勤
 めとあるなり
 け国へ北の方の内地より
 魯西亞の所領を跨り氣
 候極寒なる故人の住とま
 至つて稀あり冬も至れば
 夜国とあり夏の夜もく

益斗りありておふ言るが如し土地の人の身体矮小風俗
 卑しとらども生質質朴ふりて事小かりて勉強す
 るり冬は土中ふ穴と堀りて住居とまり夏は穴より出
 て帳幕と張り家とわす皆快鹿と養ひて生活
 とす快鹿は寒さ強き地ふに缺べらざるの獸ふりて
 是と牧ふふい木の皮或いは雪の中の藓苔などを採り
 と餌とわすけり能雪氷りの上と駈走りて人を
 走らる構と引又い物の運送ふ使ふ且その肉及び乳

と絞つて食料とみ、皮と衣服も製し骨と器物も造る土人の快鹿の数を集めて其貪福を評するなりは辺の地方を都て拉巴索と称ふ

今より三十二年おふ魯西亞の政府おく領分中の長寿の者を改めたるお百歳より百五歳お至るもの八百五十八人百六歳より百十歳お至る者百三十人百二十歳より百三十歳お至る者二人百三十一歳より百四十歳お至る者五人百四十五歳一人百

五十歳より百五十五歳まで三人百六十歳一人百六十五歳一人なりては長寿の者十の内七八は寒国邊土の人なりと言ふ是は那威お関係なりと云ふ有らぬと寒国邊土の因ゆよりて爰お記す

噠国瑞典那威の二国は上古ハスカンジナヒヤと称へ土人強猛おいてヲジシと名けし軍神と祭り是は国民の始祖と称し専ら戦闘奪掠と旨と爲し三國の者黨と結び兵船と出し歐羅巴のの中を横行

一海岸多々の国々いけ災害と象らざるものや
仏蒙西の如き強国と呼ぶも猶是は敵するに能はず
西の海岸の地と奪ひ採らんと其地を以て倭国と
稱へ權威と擅ふませり是と諾耳曼的と言ふま
噠国の軍勢屢英吉利を伐入り終ふ是と併吞
る一たり然るも英吉利の王子民間より起り噠国
人と追退けて国土を尽く恢復せしむと嗣王暗弱を
るが故に噠国の兵再び来りて是と攻取り次ぐ那威と

も伐平げ駕奴特王に至りて噠国英吉利那威の三
国小君々々駕奴特王没一那威の人民噠国小叛い
て獨立し英吉利へ諾耳曼侯の爲に奪ひしむる
け時噠国瑞典那威とも王国を以て稱へ三国鼎足
の勢ひと張り久く軍と接へり今より四百七十
六年前小那威王の夫人の噠国王の女とて以て那
威王没するも及び夫人馬里加亦達女王の位を昇
瑞典とも合併し三国を兼領して強勢の形體と現

女王歿後の王も皆噠国小都 瑞典那威
 と以て属国の如く小扱ひ一人心再び叛く小至る爰
 小於く瑞典の元の国王の子孫俄世答ウアツサといふ
 者民間より起り四辺と平定して又獨立国とされり
 那威は以時さず噠国小属す噠国瑞典共小那獲の
 新教と念ずると以て宗門改革の乱小當り西国共小
 兵と出—屢壞地利と戦ひ瑞典王俄世答ウアドルフハ
 小ユツエンの地小於くワルレンスタインの大軍小當り小

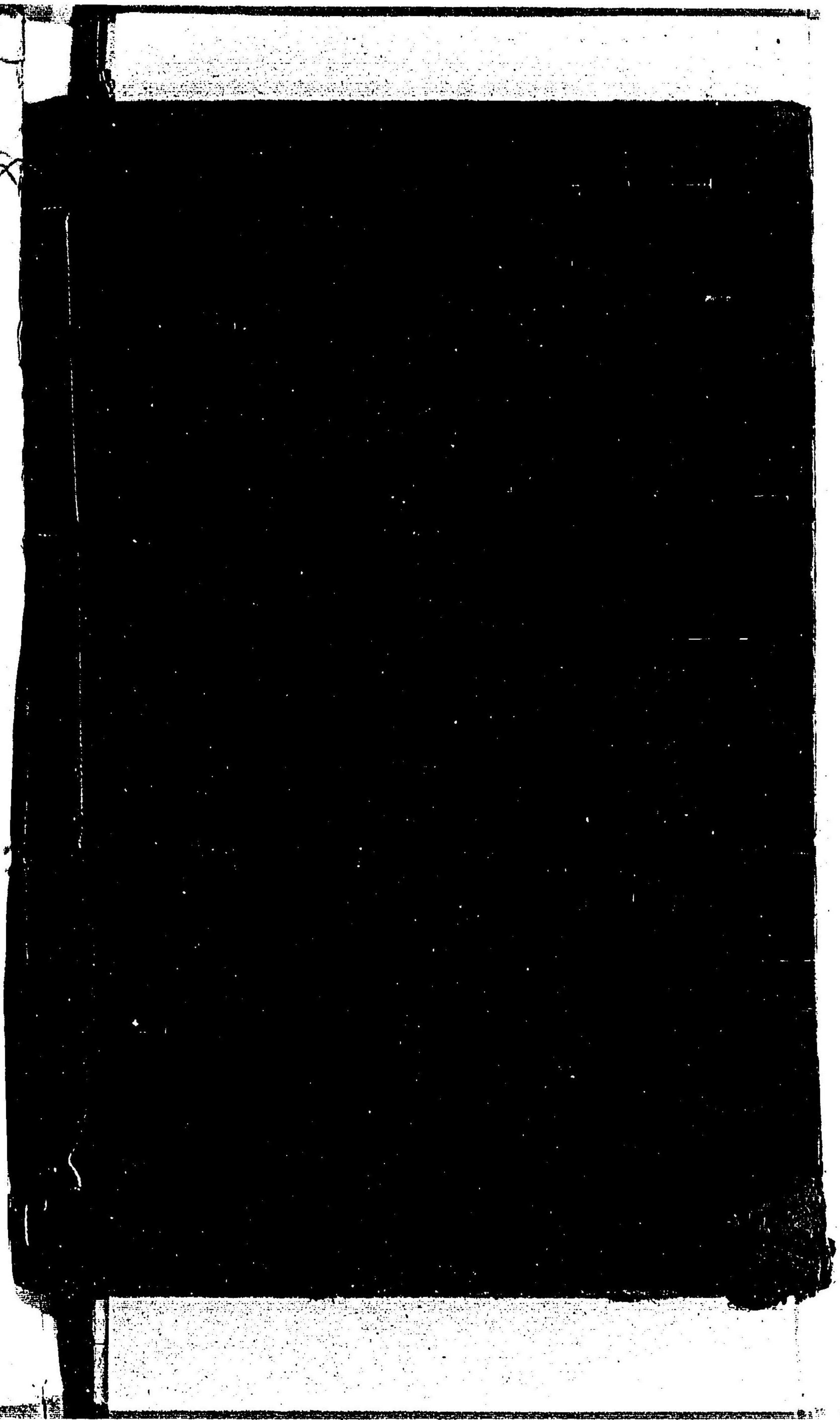


アドルフ
 勇戦の
 図

勢と以て大の是小討勝
 其身も戰場小命
 と殞せり瑞典王の中小と高
 名あるハ十二世查理斯あり
 小王四方と併吞為るんとする
 小當り魯西亜も又彼得帝
 領地と兵との企ある故兩様
 終小兵と接し土地と争ふ

二十餘年布多注の二戦小查理斯王彼得帝の爲小
 破と瑞典の軍威是より終小振へずあつて噠国ハ一
 世拿破崙の乱小當り那威と瑞典小合せられ日耳曼
 の領分と普魯士の爲小奪れり噠国人瑞典人の勇
 気ありて能耕作を勉め那威人の猛勇ゆて義と
 重んずとどの風俗野鄙ゆて智慮小乏一とあり

萬國百物語三終



特32

233

大日本教育會館
室 第
一 四
四 五
冊 號
架 函